

雷における中断・中止の判断基準について

2025年5月15日

奈良県シニアサッカー連盟

暴風雨警報による中止中断の基準と判断

フットボールセンター

- ・『暴風警報』『暴風雨警報』 **会場閉鎖となるため全て中止**

ヤタガラスフィールド

- ・ 警報、注意報発令された場合ですが閉鎖にはならないが放送が入り各団体で対応。
注意レベル、警報レベルでそれぞれ放送が入る→→→連盟としては中断し、状況次第では中止。
開催時前の**警報発令の場合は全て中止**とする。

- ※ ヤタガラスフィールドにおいては警報による施設不使用とはならない為試合開始後での発令においては**グラウンド状況により会場担当者が中止中断等を決定**する。
(第三試合中においてはその主審及び4審が判断する)
判断が困難とされる場合は当日参加チーム代表者にて対応協力する。

落雷による中止中断の基準と判断

奈良県シニアサッカーリーグ実施要項細則

6 競技（試合）の運営・規則 ⑦雷による中断の要旨 に基づく（雷鳴、雷光への対応）

雷注意報への対応 (各会場共通)

- ・ 基本は中止せず。
- ・ **雷ナウキャストを利用**し、試合中止中断もしくは継続かを判断の基準とする。
雷雨キャスト利用方法を把握し判断する。(別紙資料1利用法を参照)

判断の基準の範囲

- ・ フットボールセンター →→→ 田原本町
- ・ ヤタガラスフィールド →→→ 橿原市
- ※ 但し、明らかに上記範囲に影響を及ぼす場合はその範囲を広範囲に広げ判断要素とする。

会場担当者はリーグ戦当日の気象情報を事前に入手し中止延期の場合は当該チームへ報告する。

- ・ ヤタガラスフィールドでの時前中止の場合は管理事務所に連絡し中止の旨を必ず伝える事。

各会場において中止となった場合の対応

- ・ 各会場の事務所にて中止として時間、担当者名（シニア種・チーム名・担当者名）記載報告
※試合結果報告書の特記事項に中断内容を記載し事務所に提出 別紙資料2（コピー：会計時の資料）
試合結果報告書の特記事項への記載は当該試合の主審もしくは4審が記載すること。

落雷時避難場所の確認

- ・ フットボールセンター及びヤタガラスフィールドにおいても適切な場所が併設されておらず判断困難な場合は車を利用
特にヤタガラスフィールドにおいては樹木等の近くでの待機はしない。